

## 森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート 89 号』

### 「2021 年年間統計」

森永乳業は、時代とともに変化する育児の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」への相談内容から、育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル 110 番は 1975 年 5 月に開設し、2022 年 5 月で 47 年を迎えます。この 2 年間は、新型コロナウイルス感染症への予防対策として相談体制を縮小する一方で、長年行っている看護学生の実習をオンラインに切り替えるなど対策を実施しました。それでも、相談の電話が鳴らない日はなく、これまでの相談件数は約 99 万件(2021 年 12 月現在)にのぼり、2022 年半ばには 100 万件を超えることが見込まれています。

今回は、2021 年の年間統計をもとに、育児に関する傾向をレポートします。

#### 【主な統計結果】

- 2021 年相談件数は 9,087 件、1 ヶ月平均は 757.3 件。1 通話の平均時間は 17 分 4 秒、年間としては昨年に引き続き再相談が新規相談を上回った。
- 認知経路は、一昨年半数を超えた「インターネット検索」が 64.5%とさらに増加。
- 相談対象の年齢は 1 歳以上が全体の 55.4%と半数を超えた。
- 相談内容は「食生活」が最も多く 29.2%、次いで「相談者自身」が 23.0%と初めて 2 割を超えた。

#### ◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象 妊娠中～小学校就学前まで  
相談員数 17名(看護師、管理栄養士、心理相談員など)  
ウェブサイト <http://www.angel110.jp/>

#### 本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先

<お客さまからのお問い合わせ先>

育児に関する無料電話相談「エンゼル 110 番」フリーダイヤル 0800-5555-110

※受付時間:月～土曜日(日曜、祝日除く)、10～14 時

エンゼル 110 番ウェブサイト <http://www.angel110.jp/>

## エンゼル 110 番レポート VOL.89

### 今回のテーマ「2021年 年間統計」

2021年相談件数は減少傾向。1件当たりの相談時間は昨年と変わらず。再相談が新規相談を上回った

2021年エンゼル110番で受けた相談件数は9,087件です。1ヵ月平均では757.3件、1日当たりでは31.4件でした。

2021年も引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況は変わらず、東京都や大阪府近郊の都市圏や沖縄県などでは、緊急事態宣言もしくはまん延防止等重点措置が長期間適用されていました。エンゼル110番でも感染予防対策として5月から10月までの6ヵ月間、電話回線数を減らして対応したことも影響し、相談件数は前年よりさらに1,288件/年(前年比87.6%)、減少しました。(図2)

1件当たりの平均相談時間は17分4秒と昨年の17分5秒とほぼ変わらない長さとなりました。2020年に初めて再相談件数が新規相談件数を上回りましたが、2021年もその傾向は続き、再相談件数4,862件(53.5%)、新規相談件数4,225件(46.5%)となりました。(図3)

図1 月別相談件数(2021年)

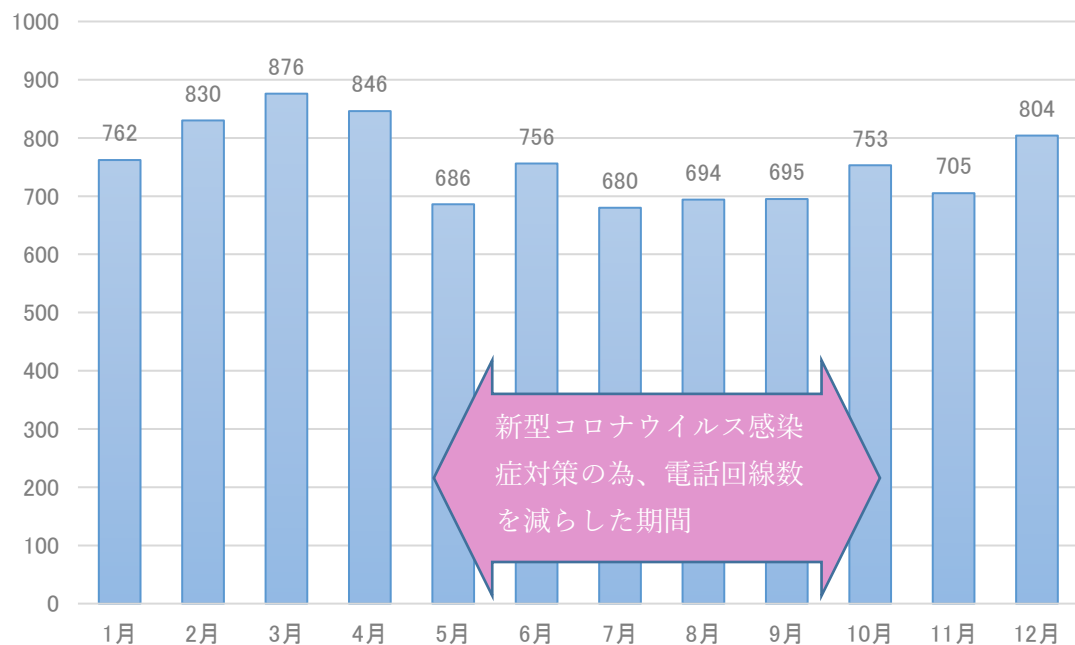


図2 相談件数と出生数(2013～2021年)

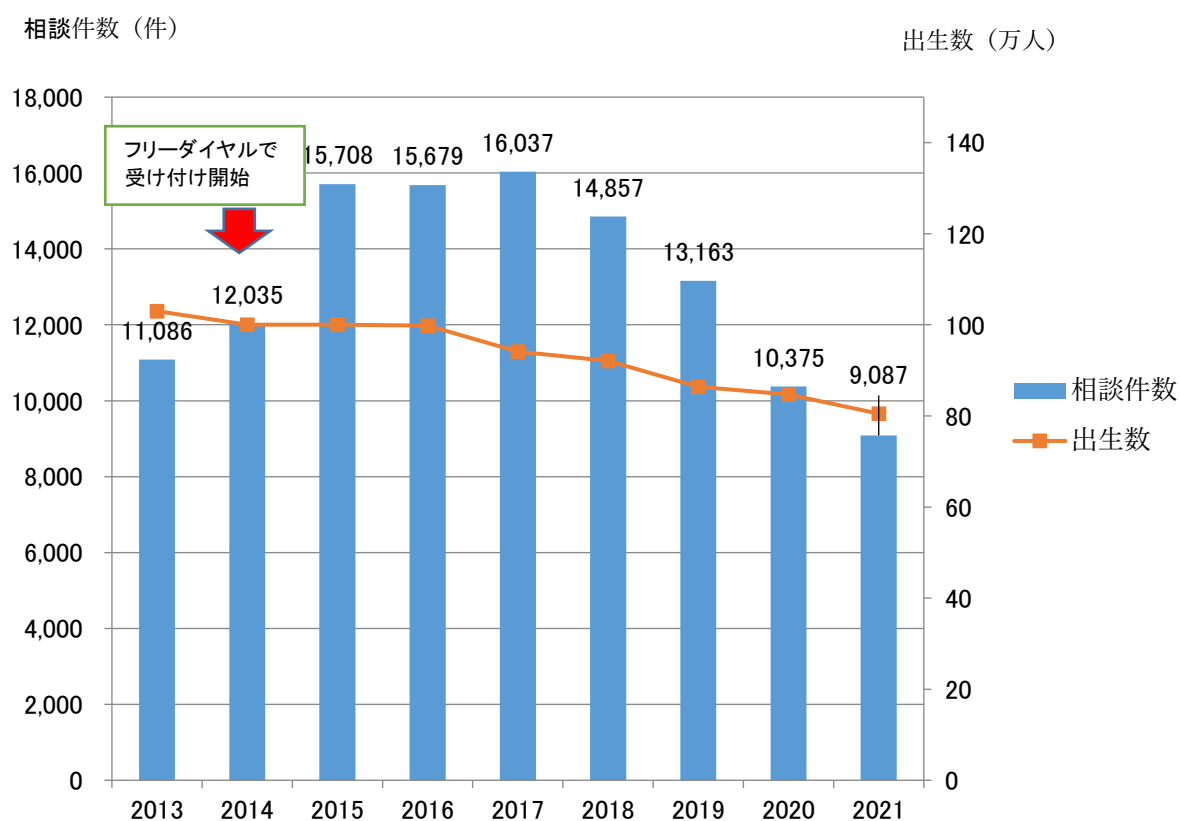
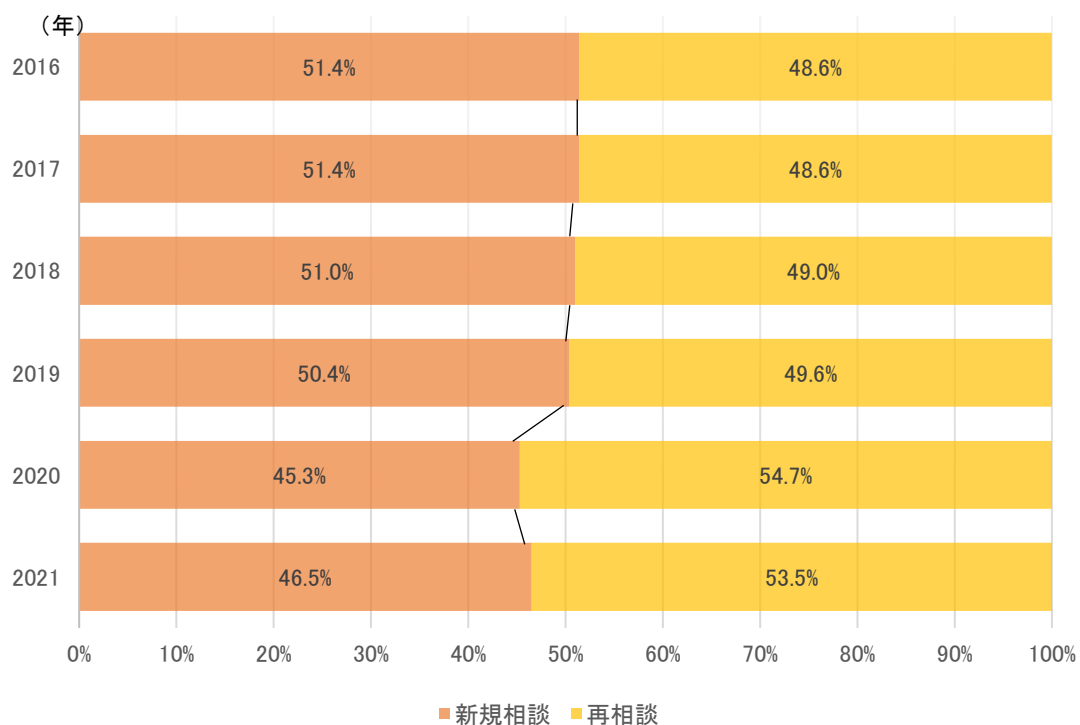


図3 新規相談と再相談の割合(2016～2021年)



## インターネットで『無料育児相談』と検索が6割を超える

エンゼル 110 番の認知経路としては、「検索サイトなど」が最も多く 64.5%を占めました(図 4)。インターネットでの検索が年々増加し続けています。2021 年はインターネット検索の中でもインスタグラムやツイッターなどといった SNS でエンゼル 110 番を知り、実際に利用される方が増えています。また、森永乳業の育児用ミルクの通販サイトのご利用者を対象にエンゼル 110 番の相談事例のメール配信を 11 月より開始したところ、12 月には月間のウェブサイトビュー数が開設以来初めて 10 万ビューを超えました。(図 5)

図 4 認知経路 (2017~2021 年)

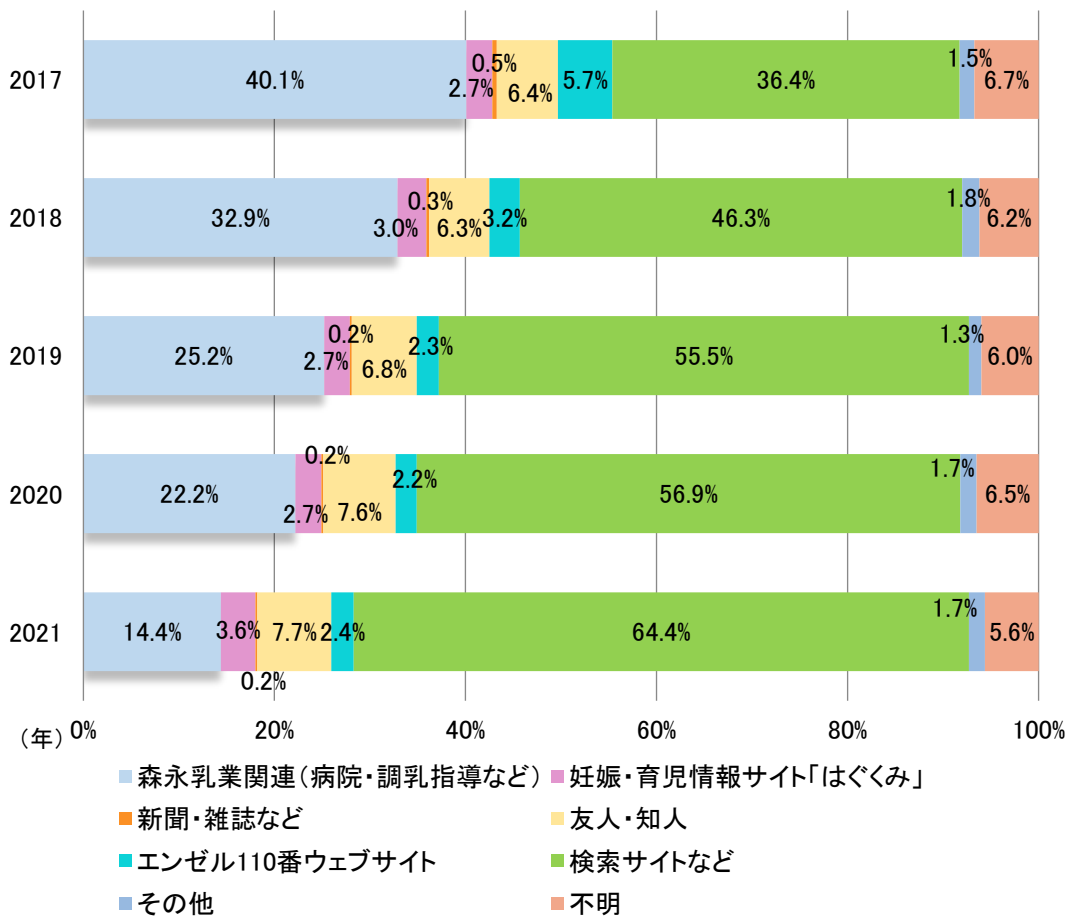
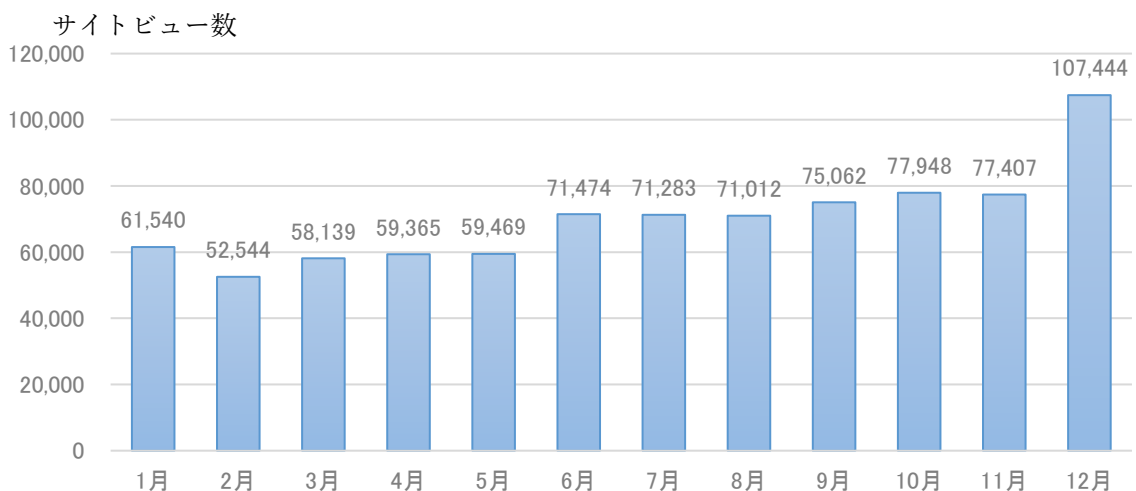


図 5 エンゼル 110 番ウェブサイトビュー数 (2021 年)



**ママからの相談が 95.9%を占めるも、パパからの相談もじわじわ増加**

相談者は 95.9%がママで、そのうち 30 歳代が 61.7%と 6 割を超えています。(図 6、7)  
 またパパからの相談も増え、パパの相談件数の記録を取り始めた 2004 年から全体を占める割合は約 4.2 倍に、人数は 100 人から 231 人に伸長しました(図 8)。コロナ禍で里帰り出産が難しいこともあるのか、パパが育児休暇を取得したというお声も相談の中でたびたびお聞きしました。

図 6 相談者の属性(2021 年)

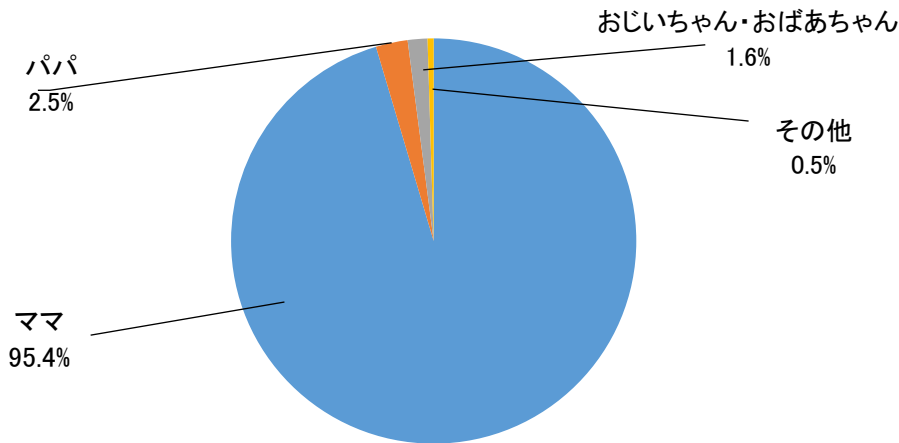


図 7 ママの年齢推移(2017~2021 年)

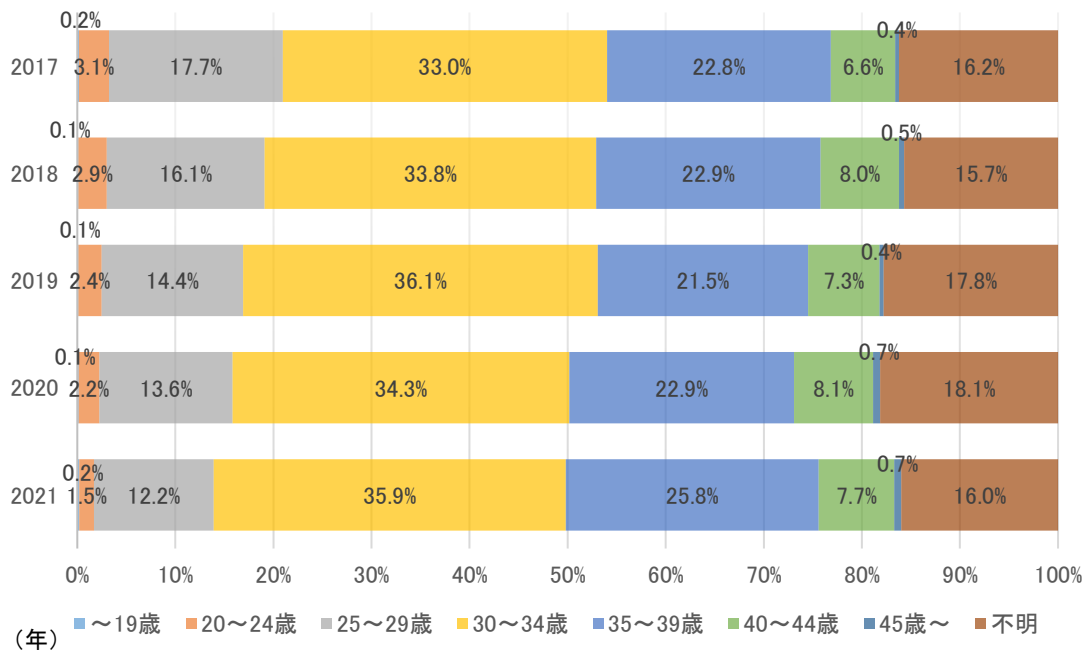
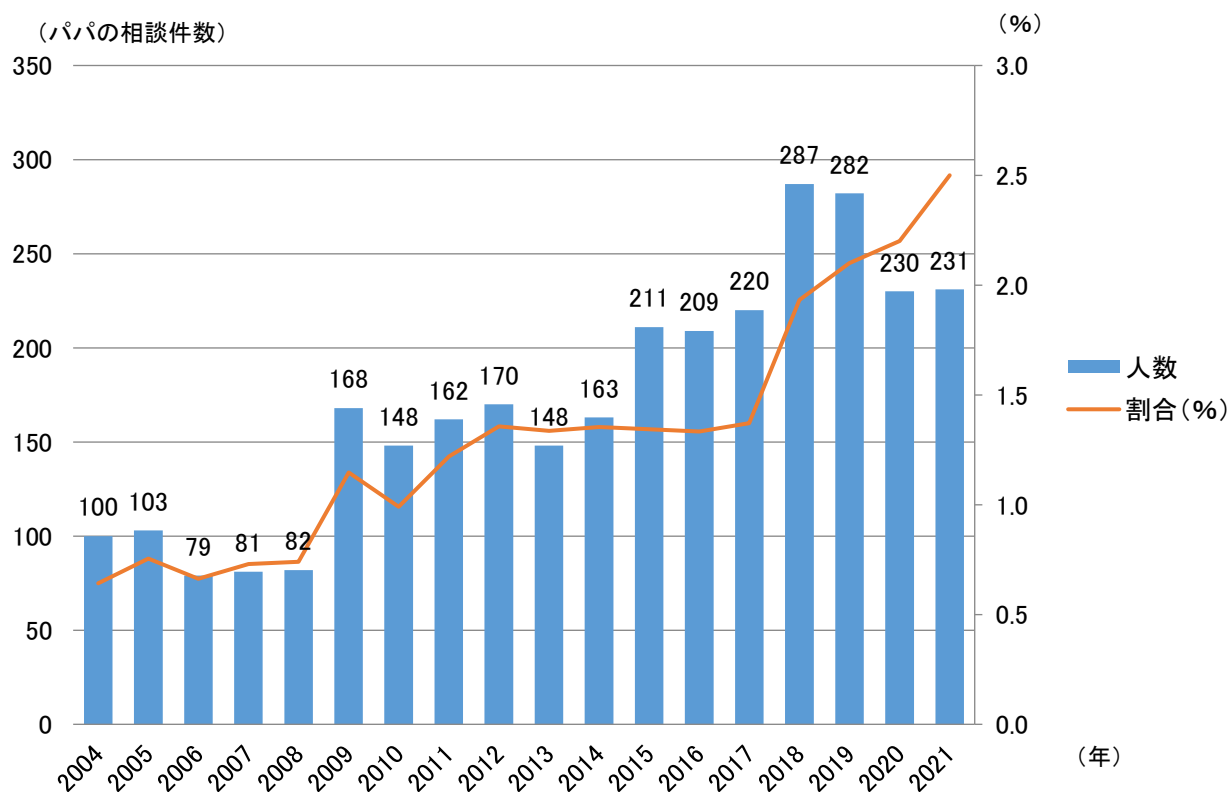


図 8 パパの相談件数と割合 (2004～2021 年)



■ パパからのご相談例

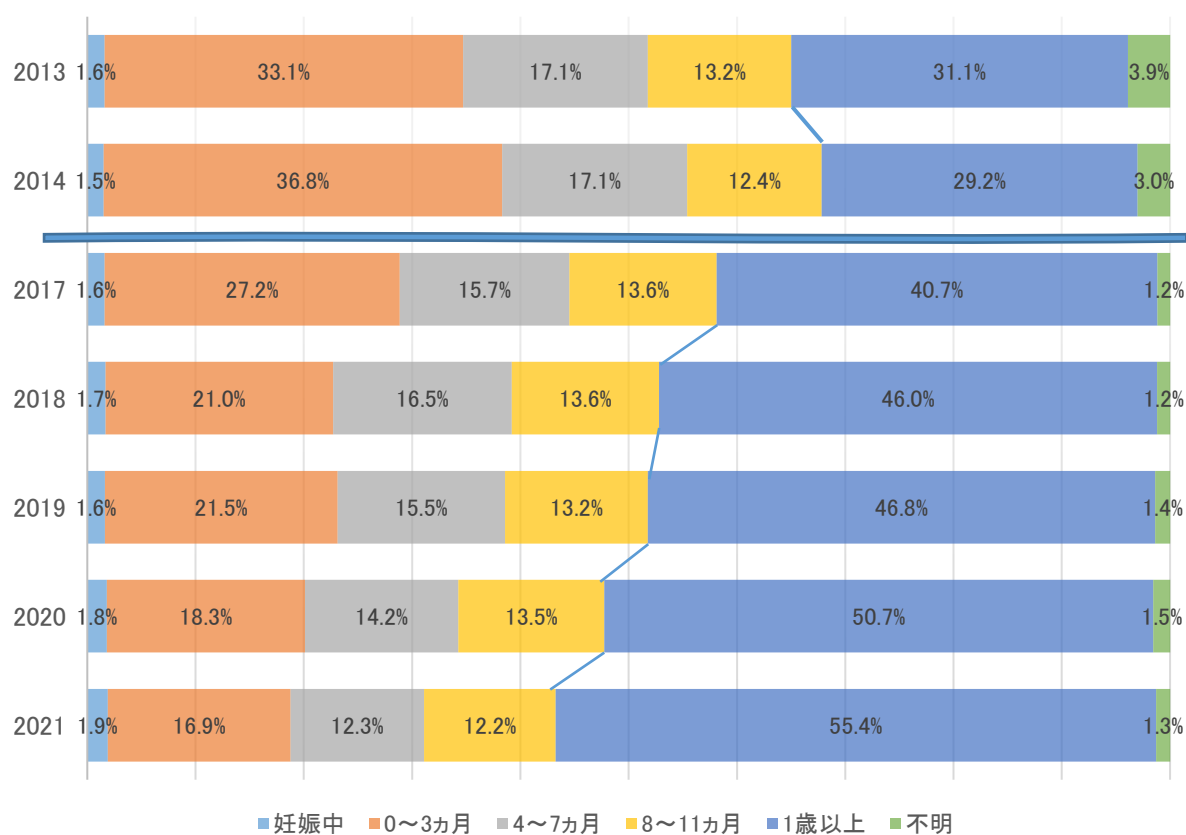
最近の特徴的なものとして、「ママのサポートをどうしたらよいか?」「ママが産後うつではないか」といったご相談があげられます。また、育児について夫婦間の意見の相違を夫婦一緒に尋ねられることもあります。

- ・このところ、夜中に子どもが泣く。昨夜は 11 時から 3 時まで泣いていた。子どもの夜泣きに困りはてた妻に起こされたら、母子で泣いていた。一昨日まで自分も育休を取っていた。今日は寝不足と心配で、会社を休んだ。今後どうやってサポートしたらよいか?
- ・体重が少なく、先月から 200g しか増えていない。身長も小さく、食も細くて夫婦で心配している。医師から安心のためとすすめられてホルモン検査を受けたが、異常はなかった。母乳は好きだが、牛乳やヨーグルトなどは受け付けない。来月から保育園に入園する。保育園からは「牛乳を飲めるようにしてください」と言われている。そろそろ断乳が必要か?
- ・子どもがよく泣く。出産した産院では「泣くたびに授乳してよい」と言われたが、インターネットで調べると『過飲症候群』と出ている。飲ませすぎではないのか?
- ・子どもとのコミュニケーションをとる時に、擬音は使ったほうがよいのか? 夫婦で考え方が違う。

### 1歳以上の相談が半数を超える

相談対象である子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が55.4%を占めました。次いで月齢0～3ヵ月までの低月齢の相談が16.9%と開設以来最も少なくなりました。開設から2015年までの40年間はこの0～3ヵ月までが常に全体の3分の1を占めトップでしたが、2016年に1歳児以上と逆転して以降減少が続いています。特に、この2年間はコロナ禍で新生児への調乳指導や0歳児への栄養相談などの機会が非常に少なくなったことも影響していると思われます。(図9)

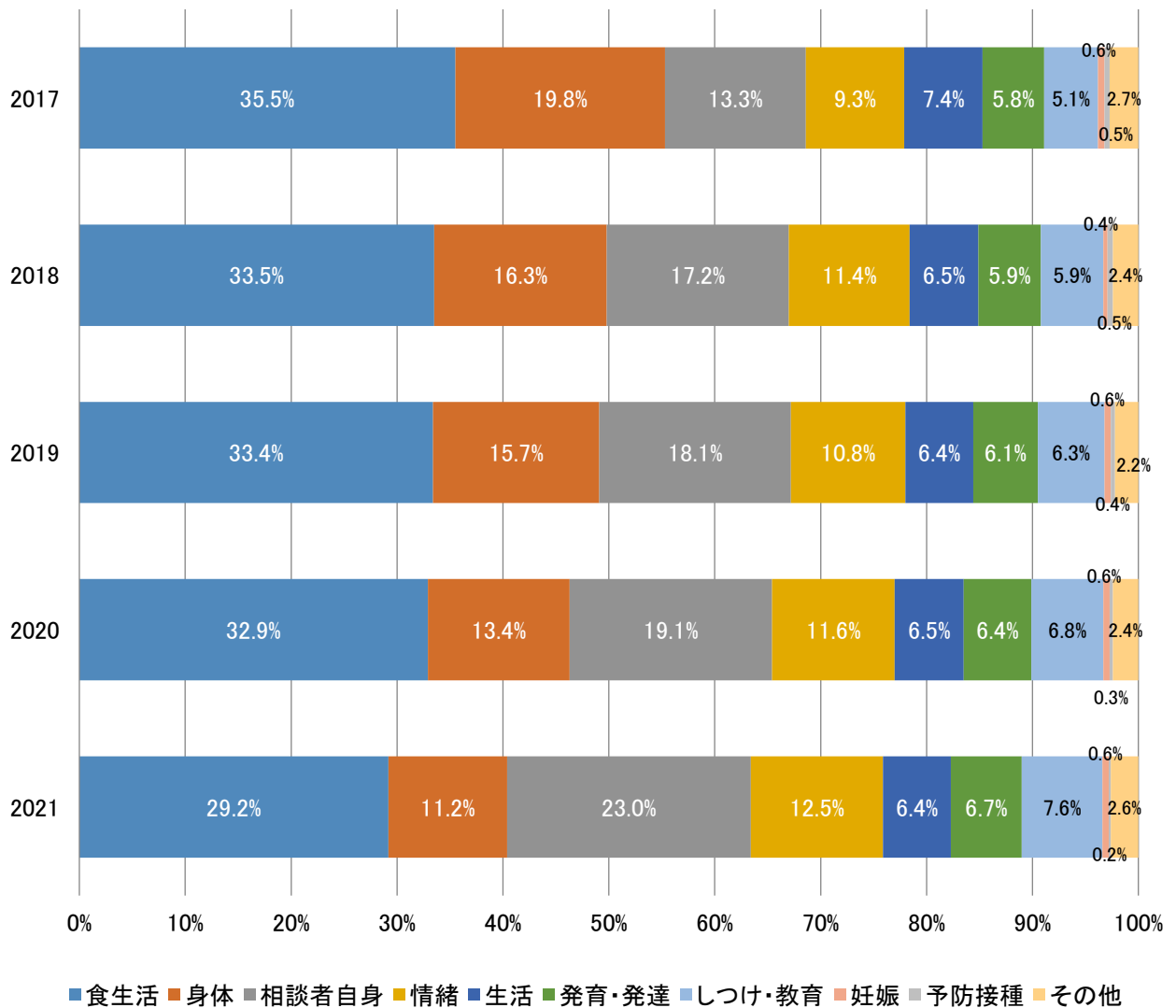
図9 子どもの月齢・年齢の割合の推移(2013～2014・2017～2021年)



**相談内容は「食生活」が最も多く29.2%、次いで「相談者自身」が23.0%**

相談内容で最も多いのは、授乳や離乳食に関する「食生活」で29.2%でした。次いで多いのが、相談者と子どもの関係や相談者自身のメンタルに関する「相談者自身」で23.0%を占めています。ここ数年「相談者自身」が増加する傾向は続いています。逆に低月齢の赤ちゃんに多い吐乳・溢乳や便、皮膚などの「身体」に関するご相談もインターネットで情報が得られるためか減少しています。また、医療的な内容の多い「妊娠」と「予防接種」は1%以下で、特に「予防接種」の相談は減少しています。これは自治体が予防接種スケジュールアプリの配布やお知らせメール、LINEなどを導入したことで、わかりやすくなったためではないかと推察しています。(図10)

図10 相談内容の割合の推移(2017~2021年)





### ■新型コロナウイルス感染症予防ワクチンのご相談例

2021年は新型コロナウイルス感染症予防のワクチン接種にまつわるご相談も多く寄せられました。エンゼル110番の相談員は医師ではありませんので医学的なアドバイスはできませんが、お話を伺って不安な気持ちを共有させていただきました。

- ・医療従事者なのでワクチン接種対象になっている。子どもに母乳を与えていて、影響がどうか気になって接種を迷っている。主治医に相談したら「症例がないからわからない」と言われ、厚生労働省の相談窓口で対応してくれた男性の担当者に「私だったら1ヵ月母乳を休みますけどね」とさらっと言われてしまった。
- ・看護師の仕事復帰に向けてワクチンを接種したら発熱した。熱が高くて赤ちゃんを抱っこできなくて困っている。
- ・ママがワクチンを接種した。医師より「今は授乳しても問題ないが、将来的にどんな影響がでるかわからない」とあいまいに言われて不安になった。接種後2日間はミルクにしてその後授乳を再開したが、このまま与えてよいか不安になった。
- ・ママがワクチンを接種することになった。子どももいろいろな予防接種を受けている時期。新型コロナウイルス感染症ワクチンは少し母乳を介して子どもに免疫がいくと聞かすが、子どもの予防接種との兼ね合いをどう考えればよいか？
- ・新型コロナウイルス感染症ワクチンは接種済み。接種から2週間経過したのでインフルエンザワクチンの接種はできるのか？妊娠の可能性があるのでどうしたらよいか？

### ■新型コロナウイルス感染症にまつわる他のご相談事例

- ・幼稚園で新型コロナウイルス感染者が発生。双子とママも感染したが、もう回復した。そのせいか二人が登園を嫌がる。
- ・高齢者の多い地域で、大きな公園に行くとマスクをせずにおじいちゃんやおばあちゃんが声をかけてきて赤ちゃんに触ろうとする。感染が怖いので、公園に行けない。
- ・最近歩くようになった。新型コロナウイルス感染症の感染を心配して、外出する機会が少なく、他の子と比べて発達が遅いのではないかと不安になった。1歳半健診も新型コロナウイルス感染症の影響で、自治体の実施が3ヵ月遅れている。
- ・フルタイムで働いている。保育園で新型コロナウイルス感染症の感染者が出たため、子どもが濃厚接触者として2週間自宅待機になった。もともといやいや期で大変だったのに、在宅ワークでママはさらに大変。
- ・コロナ禍で、通っている保育園から登園自粛要請が出て3日目。仕事を休んで子どもの相手をするが、しんどい。公的機関に相談しても「それなら登園させれば」と話を聞いてくれない。昼寝もしなくなり、痲癢で困っている。答えはないとわかっているが、話を聞いてもらいたい。
- ・新型コロナウイルス感染症のデルタ株は子どもに感染しやすいと聞くので、幼稚園の通園が不安。そのため幼稚園を休ませている。クラスではうちの子だけ。ママと家で過ごすことで発達に影響はあるか？

## まとめ

2021年は、前年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言もしくはまん延防止等重点措置が適応される期間が長く続きました。4月には例年通り入学式や入園式が執り行われましたが、その後は幼稚園や保育園が休園になったり登園が保護者の判断になったりと、通常と違う保育体制にとまどう様子が見受けられました。「通わせている園で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出て感染してしまった」「園の先生が感染して休園になった」「子どもが濃厚接触者になり、親も自宅待機中」「パパが新型コロナウイルス感染症の陽性者になった。子どもはまだ話せないので様子の方がわからない」と新型コロナウイルス感染者が身近に感じられる相談もありました。

4月や5月に多い保育園や幼稚園への行き渋りの相談が、4回目の緊急事態宣言の明けた10月以降に多くなったのも特徴的でした。この時期は行き渋り以外にも、「朝の支度を嫌がる」「癩癩が多くなってかわり方で悩んでいる」「子どもが疲れている」といった相談が多く寄せられました。

他には児童館や子育て支援施設の利用の制限や、新型コロナウイルス感染症の感染を気にして外出を控える傾向からか、「他の子と関わる機会が少なく発達が心配」「自宅にばかりいて今後の発育に影響はないか」「同じような月齢の子の様子がわからなくてこの発達で正常なのか」と今後の発達の影響を心配する声も聞かれました。

その一方で「再来週から幼稚園でお弁当が始まる。好き嫌が多く、野菜は食べない。食べるものはご飯、パン、麺類とお菓子だけ」「5歳の娘から『人はなぜ夢を見るの？怖い夢をみるのが嫌』と言われて接し方で困っている」「プレ幼稚園に通っている。2歳11ヵ月のうちの子だけトイレでできない。3歳児健診で尿検査があり不安」といった偏食や子どもへの接し方、トイレトレーニングなどの育児に関する不変的な相談もありました。

また、エンゼル110番を利用された方からは「コロナ禍で相談できる場所が減ってしまった。でも、エンゼル110番は電話越しに安全な環境で相談ができる。ありがとうございました。」「第一子の言葉の遅れでずっと相談していた。エンゼル110番は具体的にアドバイスをしてくれたのが、救いだっただ」「エンゼル110番で話を聞いてもらうと、イライラがすっきりして気持ちがリセットされて頑張れる」と、お褒めのお言葉をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の発生から2年が経過し、私たちの生活環境は大きく変化しました。これからもエンゼル110番の相談員がお話を伺わせていただくことで、子育てされている方たちの気持ちの面でのサポートができるように努めます。

以上

## エンゼル 1 1 0 番レポートのバックナンバー

1993 年 4 月	第 1 号『離乳食』
1993 年 7 月	第 2 号『初めての泊りがけ旅行』
1993 年 10 月	第 3 号『胎教』
1994 年 1 月	第 4 号『お年玉』
1994 年 5 月	第 5 号『夫の育児参加と妻の満足度』
1994 年 8 月	第 6 号『妊娠中の食事について』
1994 年 11 月	第 7 号『育児雑誌を読みますか』
1995 年 2 月	第 8 号『早期教育は必要ですか』
1995 年 5 月	第 9 号『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか』
1995 年 8 月	第 10 号『どんな出産をしましたか』
1995 年 10 月	開設 20 周年記念冊子『60 万件の電話相談から』
1996 年 11 月	第 11 号『子育て費用をどう考えますか』
1996 年 2 月	第 12 号『子どものことを夫婦で話し合っていますか』
1996 年 10 月	第 13 号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』
1996 年 12 月	第 14 号『理想の父親像と母親像』
1997 年 4 月	第 15 号『子育て中のお母さんの自由時間』
1997 年 6 月	第 16 号『子どもを預けたことはありますか』
1997 年 9 月	第 17 号『子育て中のストレス解消法』
1997 年 12 月	第 18 号『かかりつけのお医者選び』
1998 年 4 月	第 19 号『“格好いいお母さん”が当たり前？』
1998 年 6 月	第 20 号『35 歳からの子育て』
1998 年 9 月	第 21 号『これからはママもパソコン使います』
1998 年 12 月	第 22 号『35 歳からの子育て パートⅡ』
1999 年 3 月	第 23 号『実家とどうつきあっていますか』
1999 年 6 月	第 24 号『子どものアレルギーについて』
1999 年 9 月	第 25 号『子ども連れのお母さんが見た街作り』
1999 年 12 月	第 26 号『子育てが楽しいと感じる時』
2000 年 3 月	第 27 号『離乳食は得意ですか』

2000年6月	第28号『子育て仲間はどこで見つけましたか？』
2000年9月	第29号『子連れで海外旅行に行きましたか？』
2000年10月	開設25周年記念冊子『医療関係者向アドバイスブック』
2000年12月	第30号『私たちのミレニアム・ベビー』
2001年3月	第31号『ママたちのIT革命』
2001年6月	第32号『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか？』
2001年9月	第33号『妊娠してからの食生活の変化』
2001年12月	第34号『絵本の読み聞かせをしていますか』
2002年3月	第35号『育児日記をつけていますか』
2002年6月	第36号『ママたちの再就職事情』
2002年9月	第37号『テレビやビデオをどのように見せていますか』
2003年1月	第38号『夫の育児参加と妻の満足度（その2）』
2003年4月	第39号『子育てにインターネットを活用していますか？』
2003年7月	第40号『子育てコストとママの生活満足度』
2003年12月	第41号『ママたちの育児スタート -産後に望む支援サービス-
2004年4月	第42号『子育てママの喫煙・禁煙』
2004年9月	第43号『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
2004年11月	第44号『ママたちの産院選びと立ち合い出産の実態』
2005年3月	第45号『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか？』
2005年7月	第46号『赤ちゃんのアレルギー・気になりますか？』
2005年11月	第47号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか？』
2006年4月	第48号『子育てママの携帯電話活用法』
2006年7月	第49号『子ども連れで初めての泊りがけ旅行』
2006年11月	第50号『子どもは何人ほしい？』
2007年2月	第51号『子どもに習い事をさせますか？』
2007年8月	第52号『「3歳児神話」をしていますか？』
2008年1月	第53号『子どもを預けたことがありますか？（その2）』
2008年4月	第54号『「お母さんになったな」と初めて感じたのは？』
2008年9月	第55号『結婚前の料理経験はどれくらいですか？』

2009年1月	第56号『ここが困った！子連れ外出事情』
2009年5月	第57号『不況に負けない！ママの明るい節約術』
2009年9月	第58号『孫育て』
2009年11月	第59号『ママ友とおつきあい、どうしていますか？』
2010年5月	第60号『夕食の献立どうやって考えていますか？』
2010年8月	第61号『子育て支援で、本当にしてほしいことは？』
2010年11月	第62号『パパはイクメンですか？』
2011年2月	第63号『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
2011年5月	第64号『育児日記をつけていますか？』
2011年9月	第65号『ママたちの節電対策』
2012年1月	第66号『今、大切にしたいもの』
2012年6月	第67号『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
2012年11月	第68号『子育てママのお正月』
2013年3月	第69号『名づけ』
2014年4月	第70号『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか？』
2014年12月	第71号『母乳への意識』
2015年4月	第72号『現代のママ事情』
2015年7月	第73号『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
2015年9月	第74号『子育てしやすい街の条件』
2015年11月	第75号『働くママの気持ちと職場の理解』
2016年6月	第76号『ママたちが活用しているアプリは？』
2017年1月	第77号『結婚前の料理経験はどのくらいですか？』
2017年7月	第78号『なぜ、今「電話相談」なのか』
2017年11月	第79号『ママたちのストレスとその解消法』
2018年3月	第80号『2017年 年間統計』
2018年8月	第81号『ママたちの育児スタートは？』
2019年2月	第82号『2018年 年間統計』
2019年10月	第83号『ここが困った！子連れ外出事情』
2020年3月	第84号『2019年 年間統計』

2020年7月	第85号『コロナ禍で寄せられたママたちの不安と悩み』
2020年10月	第86号『離乳食－昔と今 ～変わったこと・変わらなかったこと～』
2021年3月	第87号『2020年 年間統計』
2021年11月	第88号『おうち時間の過ごし方』